

令和7年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
作業技術研究会（冬期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 長谷川啓哉

1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域農業に係わる作業技術分野の試験研究を適切かつ円滑に推進するため、農研機構東北農業研究センター及び公設試験研究機関等の関係者が参集し、現場段階での技術的課題等について議論するとともに、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方向について検討する。

令和3年に「みどりの食料システム戦略」が策定されて以降、スマート農業技術の活用を含め、さまざまな分野から環境に配慮した体系として多くの取り組みや提案が進められている。今回の研究会では、環境配慮型の営農体系に関する研究事例や導入事例の情報を共有し、今後の作業技術分野における展開方向について議論を深める。

2. 開催日時 令和8年1月26日（月）13:30～16:30
1月27日（火）9:30～11:30

3. 開催場所 キオクシア アイーナ（いわて県民情報交流センター） 研修室 812号室
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1

4. 議 題

1月26日 13:30～16:30

1) 開会・挨拶

2) 重点検討事項「環境に配慮した作業技術体系の取り組み～みどりの食料システム戦略と作業技術研究～」に関する話題提供

(1) 農業・地域に”還元する”脱炭素ソリューション ～クレジットから広がる農業貢献モデル～

株式会社フェイガー 国内生成事業マネージャー 松谷 達馬

(2) 堆肥・緑肥による減化学肥料栽培－飼料作物を例に－（仮）

農研機構東北農業研究センター 緩傾斜研究領域 出口 新

(3) イタリアにおける乾田直播による水稻有機栽培

農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域 笹原 和哉

(4) メタン発酵の副産物である消化液の液肥利用システム

農研機構農村工学研究部門 資源利用研究領域 中村 真人

(5) 各県および東北研からの話題提供

(6) 総合討論

1月27日 9:30～11:30

3) 研究成果情報の検討・確認

4) 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定

5) 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討

6) 令和8年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換

7) 閉会

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関及び公設試験研究機関の関係者、東北農政局担当官、
県普及指導員、その他部会長が必要と認める者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 農業放射線研究センター 金井源太
福島県福島市荒井字原宿南50
TEL:024-593-5151 (代表) E-mail: kanai.genta462@naro.go.jp